

## APDXC 2016

JA3USA 島本 正敬



今年で6回目を迎えたアジア太平洋DXコンベンション(APDXC)は11月11～13日され、無事終了することができました。これもJ13ZAGメンバーのお陰です。ありがとうございました。

これまでも6大陸からの参加が累積としてあったものの、今回は同時に6大陸から参加があったことが大きな特徴でしょう。南米からはブラジルの4名(内ハムは2人)、アフリカからは常連といえるXT2HBに加えチュニジアからの3V8SSと、両大陸から複数の参加がありました。また、北米からの参加者が10名を越えたことも記録です。

APDXCバスツアーのバスを大型車に変更したものの、取りあえず補助席を使わなくてもよいという程度まで参加者が増えたことも大きな変化でした。次回はことによるとバス一台では足りなくなるのでは、という嬉しい心配も出てきそうです。多少参加者が増えただけで、いろいろなことが大きく変化するのに驚かされたAPDXC 2016でした。

3日間のプログラムはこれまでの6回あったAPDXCでいつも全く同じだったと言っても過言ではありません。これも少し変化させないといけない時にきているのかなとも感じています。ちなみに、どなたかYBから参加者を勧誘して貰えませんか？

皆様のご協力、本当にありがとうございました。



# 道東へ出かけました

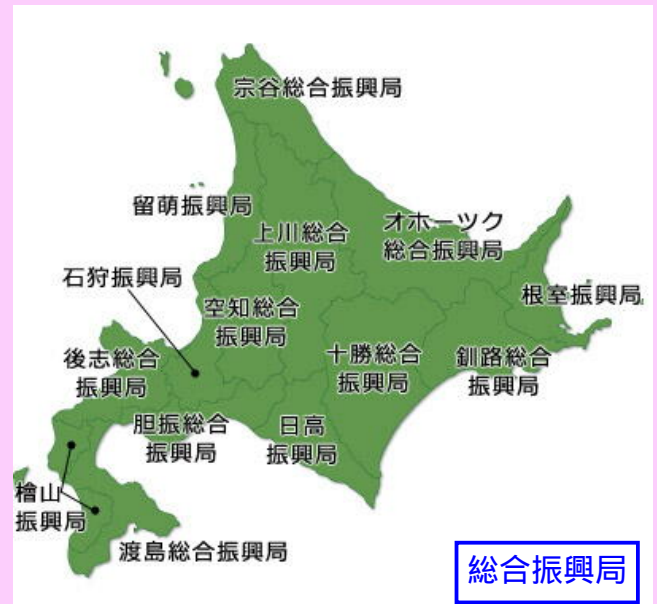
JA3USA 島本正敬

北海道、それも道東へ2泊3日の旅をしてきました。といっても女満別の空港に着いてから離れるまで丸48時間という短い旅でしたが、学んだこと、感じたことを「つれづれなるまま」思い付きで失礼します。

## もう支庁はない

北海道には支庁という行政機関があって、と信じていたのですが…。2010年に支庁はなくなり総合振興局に変わったこと、皆さんご存知でしたか？今回は網走支庁を訪れるものと思っていたのですが、オホーツク総合振興局内を訪れたそうです。そのオホーツク総合振興局、日本の行政地区名が「オホーツク」が外国語由来のカタカナ語なのですが、どうもカタカナ名称に馴染めません。最近の子供の名前と同様、変な名前が当たり前のように使われる風潮に付いていけない老人になっただけかも？

このオホーツク総合振興局の北側の地域も同様にオホーツク沿岸なのに、その名はなぜか「宗谷総合振興局」となるのです。最初から支庁時代と同名の網走にすれば良かったのと思うのですが、どうやらそうはいかない事情があるようです。今では網走より同地域内の北見が大きな都市となってしまっ、両者が中心地はこっちと引っ張り合いをしているという話も、それで、当たり障りのないカタカナ名称となったのでしょうか？いかにも日本的解決法のような気も…。



## 先入観

松はまっすぐ伸びない、と思っているのは僕だけでしょうか？日本庭園にある松、まっすぐに伸びた松なんて見ないことがありますし、全く似合いません。北見辺りの周辺の山を見回すと、この時期では雑木林は葉が落ちて寒々としているものの、緑を保ってまっすぐ天に向かって伸びている木々が沢山あります。これらはすべて、エゾマツかトマツだそうです。まっすぐに伸びる松。まっすぐに立っているのが杉だとばかり思っていました。僕の概念ではこんなのは松のイメージではない、と調べてみたら、どちらもマツ科なのですが、日本庭園にある松とは属が異なることが判明しました。トマツに至ってはモミ属だそうですから、クリスマスツリーに使いそうです。松のクリスマスツリーです。もうひとつ驚いたことは、これらのエゾマツ、トマツは人の手による植林とのこと。では、開拓される前の北海道には何が植わっていたのでしょうか？それは次の旅の宿題です。

帰宅して気がついたのですが、オレゴンの家の庭に数本の松がまっすぐ伸びているのを思い出しました。松がまっすぐでも国が異なれば変に思わなかった？どうも先入観が僕の中にも入り乱れているようです。



## 留辺蘂

さて何と読むのでしょうか？それどころか、右端の字は？こんな文字を生まれて初めて見ました。草かんむりと木の間で心が三つ入っているのです。正解は「るべべ」です。調べてみて、花のおしべ、めしべにある「べ」はこの漢字だということが判りました。でも、おしべやめしべはいつもひらがなで書かれていますよね。PCの漢字変換でちゃんと現れますから、単に自分の教養不足なのでしょう？

この名は北海道の他の多くの地名と同様アイヌ語の地名が変化した名称です。留辺蘂町として存在してきたので

すが、1市3町の合併により今では北見市の一部となっています。

地名で驚いたことがもうひとつ。観光でよく知られたサロマ湖。以前からなぜカタカナの地名？と不思議に思っていたのですが、それが「佐呂間」であることをこの旅で発見。この名称もやはりアイヌ語から由来するものだそうですが、サロマ湖のある町名は漢字なのに、なぜか湖の名称はカタカナ。これも宿題？旅をすればするほど宿題が増えるのです。

## 北海道は思っていたより狭い

北見地方に、いや、オホーツク地方にいる間に、北海道の他の地域から来られている方とお会いしました。みんな車で来ているというので尋ねてみたら、札幌でも4時間程度、帯広や釧路なら3時間も掛らないとか。高速道路が完備しているところもありますが、必ずしも高速道路を走る訳ではないのに、その程度の時間で北海道の主要都市間を車移動できると聞いて、北海道は思っているより小さいのだと感じました。そう言えば、去年小樽から釧路まで自分の車で走りましたが、確か4時間余り。大阪・白浜間を往復するより少し長い程度の時間で、北海道をほぼ縦断できるわけです。

高速道路網がより充実したらJR北海道はもっとピンチに陥ること請け合い。遠軽から網走間を車で走れば一般道路でも1.5時間、JRなら石北本線で2.5時間以上。しかも1時間に1本も列車がないのですから。

## ガソリンスタンド

関西のガソリンスタンドの大半がセルフサービスとなってどれくらい経ったのでしょうか。乗せて貰っていた自動車が留辺蘂のガソリンスタンドに入りました。すると車の両側から二人がフロントガラスを拭き始めるのです。雪でフロントガラスが汚れるからこんなサービスがあるのだと、自分の日常から消えた光景だと感じることなく見ていたのです。タイムスリップをも楽しんだガソリンスタンドの体験です。もちろん給油はセルフではありませんでした。



マツ科マツ属



見学させて頂いた建築構造材工場

## 夏より冬に山の中へ

植林した木々の手入れ等で山に入るには冬の方が良い、これには驚きました。もちろん雪のない夏の方が楽と思うからです。聞いてみるといくつかの理由があったのですが、全く思いつかないものが主な理由でした。夏は笹等を切りながら登らなくてはならないが、冬はスノーモービルであつと云う間に現場にたどり着くというのがその理由。雪道の運転だけでなく、僕らの生活には馴染みのないことが北海道には一杯あるようです。

いつものようにとりとめのない話です。



とあるJA8局のタワー群

# HF コンディションの移ろい

JA3AOP 杉山 暁

ここ数年間、電離層反射伝搬によるHF帯のDX通信のコンディションは浮き沈みがあるものの、ある程度のレベルを保ってきましたが、昨年と比べて今年は大きく様子が変わりました。その様子を少し調べてみました。

下の図は、NOAAの観測による毎日の太陽黒点数を太陽自転の27日の周期で並べた表です。昨年分は赤線で、今年分は青線で囲みました。昨年10月以後、赤色で示される黒点数120以上の日は無くなりました。昨年には無かった太陽黒点数0の日が今年は度々現れています。今年は低黒点数のコンディションとなりました。

## [NOAA Sunspot Number]

White: 0, Skyblue: less than 40, Green: 40-80, Yellow: 80-120, Red: greater than 120

2014/12/01	160	146	128	137	97	73	58	77	80	97	115	132	121	175	152	169	154	168	156	120	159	113	128	86	100	92	111
2014/12/28	108	113	102	94	101	113	122	124	89	102	106	101	125	146	133	111	93	89	62	75	49	78	62	57	50	63	70
2015/01/24	57	65	110	119	140	181	193	153	132	117	112	85	86	71	80	94	82	82	78	50	59	49	45	44	40	95	86
2015/02/20	53	54	49	44	63	64	39	58	70	66	65	38	43	31	37	20	23	29	42	42	56	87	56	54	57	60	44
2015/03/19	71	27	40	88	119	127	115	103	109	82	73	56	53	69	31	29	68	66	78	39	40	37	34	74	64	68	97
2015/04/15	85	85	93	114	142	125	153	134	110	79	77	55	42	36	26	27	13	25	67	85	99	110	131	124	136	134	188
2015/05/12	170	135	126	113	103	75	83	84	61	36	81	69	74	66	48	24	11	23	27	47	38	39	55	80	105	129	136
2015/06/08	122	110	105	101	96	97	117	107	87	94	82	74	89	73	7	61	23	3	28	25	39	36	41	49	73	91	111
2015/07/05	131	109	118	131	120	124	91	59	44	39	39	55	40	52	46	39	37	35	2	54	41	38	53	56	66	83	71
2015/08/01	70	51	62	68	87	80	95	92	87	67	87	68	51	43	33	32	20	44	38	68	78	72	93	71	61	45	46
2015/08/28	52	50	50	50	49	41	27	36	24	38	47	40	49	42	79	87	75	52	66	67	72	62	61	74	68	79	95
2015/09/24	86	145	138	154	120	125	78	73	58	47	18	15	24	24	24	11	22	36	51	58	56	49	68	83	81	94	77
2015/10/21	73	94	91	74	63	72	78	71	101	88	73	88	94	95	93	75	75	79	70	67	65	64	29	50	48	63	44
2015/11/17	33	36	51	52	59	76	77	66	58	56	48	36	47	51	27	26	47	25	41	38	50	58	77	86	77	89	74
2015/12/14	81	64	49	52	49	44	33	38	68	63	51	71	63	67	64	54	34	18	40	52	50	60	29	38	57	80	84
2016/01/10	73	41	29	26	36	38	38	48	48	55	59	56	50	54	47	58	61	75	64	49	30	39	42	52	78	95	113
2016/02/06	71	84	82	79	82	68	74	46	52	48	49	60	35	42	46	47	29	27	39	26	41	37	38	44	39	65	50
2016/03/04	95	68	68	61	48	61	61	48	56	43	57	44	53	66	29	26	25	25	13	14	25	24	23	23	23	13	12
2016/03/31	11	11	11	38	23	27	13	26	27	29	26	42	34	41	46	69	51	35	28	28	24	35	22	11	46	38	65
2016/04/27	86	84	82	82	76	75	57	67	55	56	51	42	68	70	73	67	76	89	73	76	36	28	38	43	17	15	13
2016/05/24	24	27	30	19	31	25	56	40	30	27	0	0	0	0	1	15	22	2	10	39	27	26	22	26	36	46	48
2016/06/20	35	22	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	11	2	5	63	46	62	63	54	54	73	47
2016/07/17	51	68	58	56	49	36	34	16	0	0	0	13	13	13	12	13	11	0	0	36	33	63	91	72	69	82	86
2016/08/13	73	61	70	81	64	54	37	12	11	33	47	43	39	44	52	64	67	64	91	66	50	46	59	22	32	50	49
2016/09/09	65	66	63	57	27	24	12	13	14	47	56	32	35	30	49	47	18	23	21	20	17	12	0	13	32	33	38
2016/10/06	55	50	62	58	64	56	40	41	38	35	25	23	24	31	16	29	27	14	13	17	15	12	0	16	12	12	12
2016/11/02	0	23	25	24	23	24	0	12	13	26	51	38	26	29	18	27	28	22	11	0	0	11	12	12	13	31	44
2016/11/29	43	75	49	59	62																						

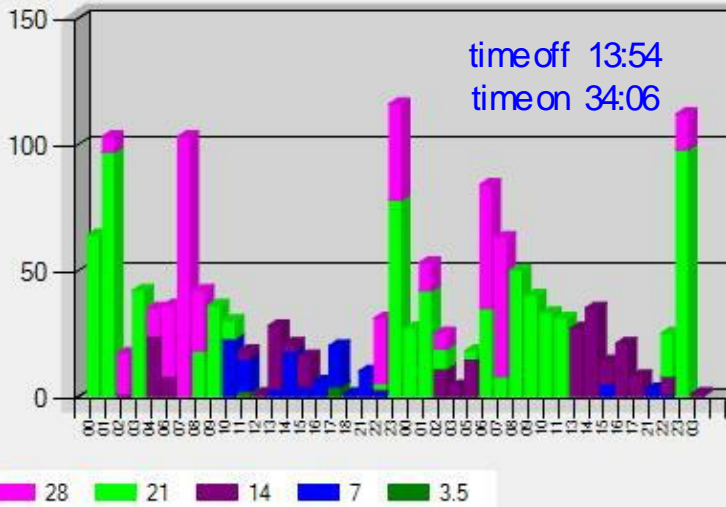
このような太陽活動の変化は実際のDX交信にどのように影響したのでしょうか。2015年と2016年のCQWW SSB のログで変化の様子を調べてみました。下は、2015CQWW ssbと 2016CQWW ssbのログサマリーです。

Score - 1,546,171 Points 2015CQWWssb					
Band	QSOs	Pts	ZN	Cty	Pt/Q
3.5	6	9	5	5	1.5
7	105	262	22	44	2.5
14	216	605	27	70	2.8
21	736	2079	30	89	2.8
28	387	1082	24	67	2.8
Total	1450	4037	108	275	2.8
Score:	1,546,171				
1 Mult =	3.8 Q's				

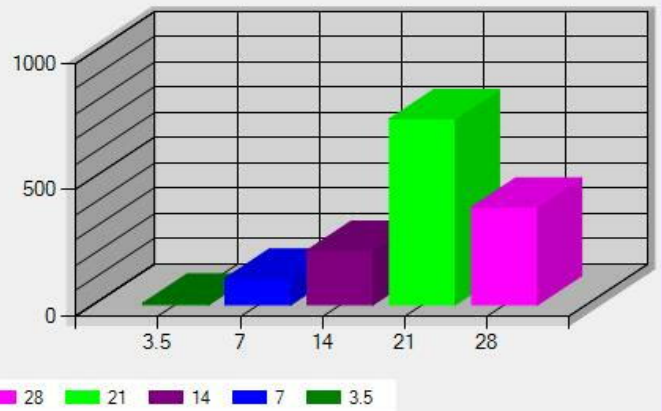
Score - 719,160 Points 2016CQWWssb					
Band	QSOs	Pts	ZN	Cty	Pt/Q
3.5	22	38	9	13	1.7
7	171	416	26	53	2.4
14	225	581	27	58	2.6
21	433	1169	26	72	2.7
28	42	101	11	17	2.4
Total	893	2305	99	213	2.6
Score:	719,160				
1 Mult =	2.9 Q's				

2016年は2015年に比べ総交信数が大きく減少しました。28MHz,21MHzでのQSOが激減しました。14MHzは変わらず、7MHz,3.5MHzでの交信が増えましたが、ハイバンドの落ち込みをカバーできません。

JA3AOP - CQ WorldWide SSB 2015/10/31



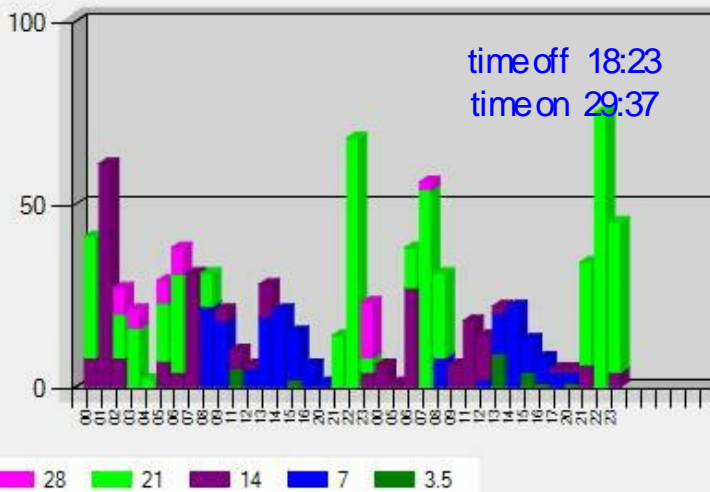
JA3AOP - CQ WorldWide SSB 2015/10/31



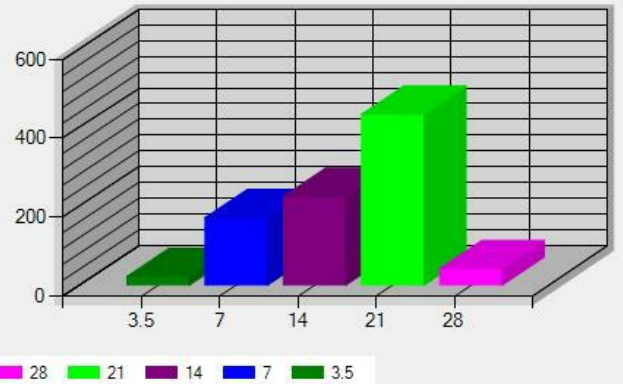
上のグラフは2015年、下は2016年のCQWWssbのログの分析です。

左は時刻ごとのQSOの変化です。off timeの時間帯は表示が省略されています。右のグラフはバンドごとの交信数です。ハイバンドからローバンドへの移り変わりが鮮明です。

JA3AOP - CQ WorldWide SSB 2016/11/05



JA3AOP - CQ WorldWide SSB 2016/11/05



下のログサマリーは2016/11/26-27 UTCに行われたCQWW cwの結果です。シャックや周辺のメンテナンスと掛け持ちの参加でした。私はCWは不得手で、とてもコンテストでCQを出せるレベルにはありませんので、専ら呼びまわりです。CQWWssbから1か月経ち、季節的にもさらにローバンドが優勢なコンディションとなり7MHzで最も多くの交信ができました。3.5MHzはssbの3.8MHzに比べ、CWは相対的にバンド幅が広いのでQSOがやり易いです。右はバンドごとのグラフです。ssbの場合と色分けが異なります。ご注意ください。

Score - 323,150 Points **2016CQWW/cw**

Band	QSOs	Pts	ZN	Cty	Pt/Q
1.8	22	36	10	10	1.6
3.5	80	176	18	33	2.2
7	174	460	22	52	2.6
14	142	374	24	53	2.6
21	52	74	16	22	1.4
28	14	30	9	12	2.1
Total	484	1150	99	182	2.4

Score: 323,150  
1 Mult = 1.7 Q's

JA3AOP - CQ WorldWide CW 2016/12/03



2006年以来、J13ZAG-NLの編集作業を担当させていただきました。つたない編集ですが今年の5月号を除いて毎月号を発刊できましたことはメンバー皆様の温かいご援助のお陰です。厚く御礼を申し上げます。新年から島本会長にバトンをお渡りする予定です。今後ともご支援ご協力をお願いいたします。

J13ZAG-NL 編集担当 杉山 暁/JA3AOP